

平成 2 3 年度

出資団体監査の結果に関する報告書

中津川市監査委員

中 監 査 第 4 2 号

平 成 2 4 年 3 月 2 3 日

中 津 川 市 長 青 山 節 児 様

中 津 川 市 議 会 議 長 吉 村 俊 廣 様

中 津 川 市 監 査 委 員 鷹 見 幸 久

中 津 川 市 監 査 委 員 鈴 木 清 貴

平 成 2 3 年 度 出 資 団 体 の 監 査 結 果 に つ い て

平 成 2 2 年 度 の 出 資 団 体 の 監 査 を 地 方 自 治 法 第 1 9 9 条 第 7 項 の 規 定 に
よ り 実 施 し た の で 、 そ の 結 果 を 同 条 第 9 項 の 規 定 に よ り 報 告 し ま す 。

目 次

1	監査の対象及び監査の期日	1
2	監査の方法	1
3	監査の結果	1
	団体別の監査結果	
	（株）クオリティ・ファーム中津川	2
	（株）クアリゾート湯舟沢	4
	（株）阿木レイクサイド	6

1 監査の対象及び監査の期日

当年度の出資団体（第3セクター）監査は、平成23年11月、8社ある第3セクター各団体の経営状況について、総務部行政改革推進課に調査依頼し、回答のあった参考資料を基に、監査委員が選定した次の出資団体について、下表のとおり実施した。

実施日	出資団体（第3セクター）名	担当課
平成24年 1月26日	（株）クオリティ・ファーム中津川	産業振興部畜産センター
平成24年 2月1日	（株）クアリゾート湯舟沢	産業振興部観光課
平成24年 2月8日	（株）阿木レイクサイド	産業振興部観光課

2 監査の方法

平成22年度における出資団体の現金出納などに関する事務、事業の執行及び事業結果について監査を行った。

監査にあたっては、各団体から提出された定款等の写、事業計画書、事業報告書、決算報告書（貸借対照表・損益計算書）を参考に、会計帳簿、その他関係書類について精査し、併せて団体責任者等及び担当課職員の説明を聴取すると共に、現地調査を行った。

3 監査の結果

決算書類は、全般に良好と認めた。

出資団体別の監査結果は、次のとおりである。

○ (株)クオリティ・ファーム中津川

1 監査の対象

(株)クオリティ・ファーム中津川

2 監査の期日

平成24年1月26日

3 事業の概要

平成7年3月に(株)クオリティ・ファーム中津川と締結した定款に基づき、地域社会の発展に資するため、次の事業を行っている。

- (1) 公共団体が建設する施設の管理運営業務の受託
- (2) 肉類(羊、豚、牛等)羊毛の加工販売
- (3) 堆厩肥処理有機質肥料の生産販売
- (4) 中津川市が建設するふれあい緑地公園の管理業務
- (5) 飲食店(バーベキュー、喫茶等)の経営
- (6) 和洋雑貨品及び観光用土産物販売
- (7) 煙草、酒類及び医薬品の小売業
- (8) 農産物、畜産物、木製玩具の販売
- (9) 自動販売機による飲料水、煙草、和洋雑貨品の販売
- (10) スポーツ施設、遊園地等の経営
- (11) その他前各号に付帯する一切の業務

第17期(平成22年6月1日～平成23年5月31日)営業報告によると、九州宮崎県を中心に発生した口蹄疫問題、東日本大震災による自粛、夏の猛暑、秋春の牧場まつり期間の天候不順などによる来場者の減少により、売上は対前年度比72.2%の減となり、その結果純損失6,255,586円を計上することとなった。

平成22年7月に、経営改善計画書を作り、牧場の現状と課題を明確化し、健全経営を図るとされている。

4 経理の状況

平成 22 年 6 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日

(単位：円)

収入決算額	24,588,817	
営業収益	24,385,046	資本金
営業外収益	203,771	11,000,000
支出決算額	30,844,403	繰越利益剰余金
営業費用	30,149,110	△11,716,094
営業外費用	695,293	
当期純利益	△6,255,586	

5 監査の結果

以下の項目について指摘事項とする。

- (1) 昨年も指摘したが、棚卸資産として計上されている金額の証拠書類が揃っておらず、信憑性に乏しい。乾燥堆肥等確認がしにくいものについては、現場写真を保存するなど確認する数量計算の基となる資料を作成し、単価については取得価額を証明する書類等を整備しなければならない。
- (2) めん羊等の台帳管理について、受払簿等の様式を整備し、期首、期末の個体の数の根拠となる様式を作成されたい。
- (3) 棚卸資産のうち実質的に固定資産に該当するものがある場合は減価償却が必要であるので検討を要する。
- (4) 平成 23 年 9 月から、株主の 1 人である S Y フードから社員が出向されており、P R の仕方、桜の時期の入場者増、夏の夜の経営等様々な経営ノウハウの伝授を受け、着実な経営発展に尽力されたい。

○ (株)クアリゾート湯舟沢

1 監査の対象

(株)クアリゾート湯舟沢

2 監査の期日

平成24年2月1日

3 事業の概要

この会社は、周辺の恵まれた自然環境と中津川市の文化、歴史を生かしながら、地域の活性化に貢献し、さらに周辺観光事業所と連携をとりながら中津川市の発展に寄与する運営を基本理念に、平成7年2月に中津川市が設置した観光施設であり、事業内容については、以下のとおりである。

- (1) 中津川市から委託を受けた観光施設の管理及び運営に関する事業
- (2) 温泉を利用する施設の管理及び運営
- (3) レストラン、喫茶店の建築及び経営
- (4) 和洋雑貨品及び観光用土産物の販売
- (5) 煙草・酒類及び医薬品の小売並びに郵便切手・印紙等及び宝くじの売り捌き
- (6) 農産物・畜産物の販売
- (7) ホテル・旅館、その他宿泊所の建築及び経営
- (8) 貸店舗業
- (9) 自動販売機による飲料水・酒類・温泉水・煙草・和洋雑貨の販売
- (10) 健康トレーニングの指導
- (11) 飲食店業、料理仕出しその他売店の経営
- (12) ドライブイン・遊園地の経営
- (13) 病院・医院患者美入浴及び移動入浴の受託業務
- (14) 遊技場の経営
- (15) 温泉水その他熱供給施設に関する事業
- (16) 有価証券の売買に関する業務

- (17) 旅行業法に基づく旅行業
- (18) その他前各号に付帯する一切の事業

4 経理の状況

平成22年10月1日～平成23年9月30日

(単位：円)

収入決算額	347,057,266	
営業収益	342,892,996	資本金
営業外収益	3,389,155	81,000,000
特別利益	775,115	
		繰越利益剰余金
支出決算額	369,430,433	△37,553,397
営業支出	359,791,189	
営業外支出	9,639,244	
当期純利益	△22,373,167	

5 監査の結果

以下の項目について指摘事項とする。

- (1) 当施設は開設して17年経過しており、今後更に維持修繕費の増加が予想される。利用価値が高い段階での早めの売却など根本的な対策を練る必要があると思われる。
- (2) 支配人の登用などにより経費の削減と黒字化が一時的に達成されたが、サービスの低下が懸念されている。PR方法の改善、牧場・馬籠宿等との広域的なタイアップなど各種の方策を検討し、経営者・従業員が一丸となって収益の改善を図られたい。

○ (株)阿木レイクサイド

1 監査の対象

(株)阿木レイクサイドの経営状況について

2 監査の期日

平成24年2月8日

3 事業の概要

平成6年2月に締結した定款に基づき、阿木川湖周辺施設の整備と管理をすることを目的とした次の事業を行っている。

- (1) パターゴルフ場の経営する事業
- (2) 公共団体が建築する施設の管理、運営業務の委託
- (3) 飲食店、喫茶店の経営
- (4) 日用雑貨品及び観光用土産物の販売
- (5) 煙草・酒類及び医薬品の小売
- (6) 農産物・畜産物の販売
- (7) 不動産の賃貸、管理
- (8) スポーツ施設、宿泊施設の経営
- (9) 地域開発計画の策定
- (10) 砂利採取業
- (11) その他前各号に付帯する一切の事業

第17期（平成22年1月1日から平成22年12月31日）事業報告によると、パターゴルフ場入場者が前期より1,471人減少した。これは、長雨と高温の異常気象によると思われる。

バーベキュー場は、団体利用者の定着化と安定した個人リピーターにより、ほぼ横ばいの状況である。

中の島公園ふれあいの里は、今期は長期間の利用がなかったことにより、減収することとなった。

そば事業の業績は増加傾向にある。

4 経理の状況

平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日

(単位：円)

収入決算額	19,366,104	
営業収益	18,852,295	資本金
営業外収益	498,809	10,000,000
特別利益	15,000	繰越利益剰余金
		△673,051
支出決算額	19,494,409	
営業費用	19,364,547	
営業外費用	129,862	
当期純利益	△128,305	

5 監査の結果

以下の項目について指摘事項とする。

- (1) 支出の中では中の島公園の光熱水費が大きな割合を占めている。
電気料金の設定を見直すなど、更なる経費の削減に努められたい。
- (2) そばの販売が軌道に乗ってきたようであるが、販路の拡大と共に、
作付け農家を増やすことにも努め、地域住民とタイアップしながら、
地域おこしに貢献されたい。
- (3) 市の管轄課は、会社から提出された決算書類等を分析し、経営状
況を把握すると共に、各施設の存続の方向性などについて、一層
の検討する必要がある。